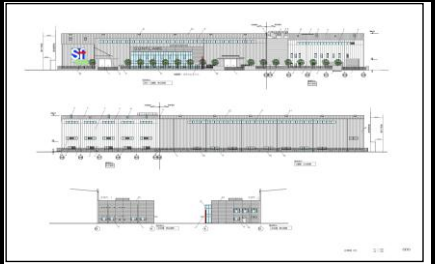


CASBEE® 新築[簡易版]

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-新築(簡易版) 2010年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.4)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	サンプレム京都本社工場増築	階数	地上2階
建設地	京都府宇治市大久保町西ノ端1番30	構造	S造
用途地域	工業地域	平均居住人員	60人
気候区分		年間使用時間	2,600時間/年
建物用途	事務所, 工場,	評価の段階	基本設計段階評価
竣工年	2014年8月 予定	評価の実施日	2014年2月1日
敷地面積	9,293 m ²	作成者	齋藤
建築面積	5,517 m ²	確認日	2014年2月1日
延床面積	7,789 m ²	確認者	大平



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 1.6 ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

☆☆☆☆☆

30%: ☆☆☆☆☆ 60%: ☆☆☆☆☆ 80%: ☆☆☆☆☆ 100%: ☆☆☆☆☆ 100%超: ☆

標準計算

①参照値	100%
②建築物の取組み	97%
③上記+②以外の	97%
④上記+	97%

(kg-CO₂/年・m²)

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Qのスコア = 3.4

Q1 室内環境	Q1のスコア = 3.2
Q2 サービス性能	Q2のスコア = 3.2
Q3 室外環境(敷地内)	Q3のスコア = 3.8

LR 環境負荷低減性

LRのスコア = 3.5

LR1 エネルギー	LR1のスコア = 3.8
LR2 資源・マテリアル	LR2のスコア = 3.7
LR3 敷地外環境	LR3のスコア = 2.9

3 設計上の配慮事項		その他
総合 敷地は日産車体工場跡地の工場誘致地区。既存工場への影響を最小限とし、生産ラインの連続性を考慮した設備・構造計画を行い、デザイン性が高く機能・品質を十分に満たした新工場をつくることで、新事業の展開の拠点を実現する。また、井水の利用や敷地境界側に緑地を設けることで、環境・景観配慮型の工場づくりに取り組んでいる。		注) 上記の6つのカテゴリー以外に、建設工事における廃棄物削減・リサイクル、歴史的建造物の保存など、建物自体の環境性能としてCASBEEで評価し難い環境配慮の取組みがあれば、ここに記載してください。
Q1 室内環境 南北面に換気を考慮し高窓を設置 室内環境に合わせて調節できる可動ガラリの採用	Q2 サービス性能 将来増築計画を考慮した電気室の配置計画。	Q3 室外環境(敷地内) 既存に合わせた外装材を使用することで既存工場と連続性を持たせたファサードの計画。 歩道側に緑地帯や、緑地を設け周辺環境に配慮した植栽計画を実現。
LR1 エネルギー 太陽光発電の設置	LR2 資源・マテリアル 敷地内井水の利用 地域産木材を利用	LR3 敷地外環境

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Building Environmental Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される